

授業科目名	日本語表現 4	教員名	川越 勇二
		Eメールアドレス	ykawagoe@sky.miyazaki-mic.ac.jp
授業形態	講義	オフィスアワー	授業終了後随時
科目番号	JEX4-1	担当形態	単独
単位数	2単位	配当年次	3・4年
アクティブ・ラーニング	対話を重視し、ペア・ワーク、グループ・ワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等の活動を行う。	卒業要件	必修
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語への関心を高め、日本語の特質を理解する。【日本語への関心・理解】</li> <li>・さまざまな表現方法を理解し、自分の考えや心情を表現できる。【表現方法の習得・活用】</li> <li>・表現することを通じて、他者や社会とつながり、より良い生き方を探求する。【生き方の探求】</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 話題や題材を生かし、情報を分析しつつ、論理的思考ができる。</li> <li>(2) 相手の立場や自分とは異なる考えを尊重し、意義ある討論を行い、論拠の妥当性を判断できる。</li> <li>(3) 論理の構成や描写の仕方などをさまざまに工夫して表現できる。</li> <li>(4) 日本語におけるさまざまな表現法を習得し、相手意識をもって話したり書いたりできる。</li> <li>(5) 読書の幅を広げ、読書に親しみ、自分の生き方を考えることができる。</li> <li>(6) 言語文化に対する関心を持ち、それらを尊重しつつより視野を広げることができる。</li> </ul>		
授業の概要	<p>価値観の多様化する現代において、言語環境は大きく変容しているが、その中において、論理的に思考する力、豊かな発想のもととなる創造力、またそれを表現する力が不可欠となっている。本授業では、日本語表現についての理解を深め、言語感覚を磨くとともに、日本語で適切かつ効果的に表現する能力の育成をめざす。内容は、すぐれた日本語表現の鑑賞、作品の創作および相互評価、日本語に関する研究発表等である。單元ごとに、プレゼンテーションやディスカッション、相互評価、自己評価（レポート）といった言語活動を繰り返す中で、日本語に対する興味・関心を高め、表現することの意義を考えさせたい。</p>		
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースにした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている。3. 課題発見および問題解決能力を身につけている。4. 日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>		
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義には常に出席し、講義の時間に遅刻しない。</li> <li>・正当な理由（証明）のない遅刻については、1/2の出席とする。</li> <li>・講義の出席が3分の2を満たさない者は辞退とする。</li> </ul>		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回：授業概要説明 日本語の特質と表現の意義（目標(1)(6)）</li> <li>第2回：すぐれた日本語表現を味わう（目標(1)(4)(5)(6)）</li> <li>第3回：すぐれた日本語表現を味わう（目標(1)(4)(5)(6)）</li> <li>第4回：作品の創作に関するガイダンス（目標(1)(3)(4)）</li> <li>第5回：作品の創作および相互評価①（目標(1)(2)(3)(4)）</li> <li>第6回：作品の創作および相互評価②（目標(1)(2)(3)(4)）</li> <li>第7回：作品の創作および相互評価③（目標(1)(2)(3)(4)）</li> <li>第8回：作品の創作および相互評価④（目標(1)(2)(3)(4)）</li> <li>第9回：作品の創作および相互評価⑤（目標(1)(2)(3)(4)）</li> <li>第10回：日本語表現に関する研究発表およびディスカッション①（目標(1)(2)(4)(6)）</li> <li>第11回：日本語表現に関する研究発表およびディスカッション②（目標(1)(2)(4)(6)）</li> <li>第12回：日本語表現に関する研究発表およびディスカッション③（目標(1)(2)(4)(6)）</li> <li>第13回：日本語表現に関する研究発表およびディスカッション④（目標(1)(2)(4)(6)）</li> <li>第14回：日本語表現に関する研究発表およびディスカッション⑤（目標(1)(2)(4)(6)）</li> </ul>		

	<p>第15回：日本語表現に関するまとめ（目標(1)(2)(4)(6)）</p> <p>定期試験：日本語表現に関する小論文</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>出席と授業への取り組み状況（30%）・課題・レポート・発表（30%）・定期試験（40%）を総合して評価する。</p> <p>なお、課題・レポート・発表等へのフィードバックについては、以下の方法による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに口頭で行う。</li> <li>・模範例を提示する。</li> </ul>
<p>時間外の学習 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題・レポート・発表資料については、必ず指定された日までに提出すること。</li> <li>・発表等の準備を周到に行うこと。</li> </ul>
<p>テキスト</p>	<p>授業時に適宜教材・資料を配布する。</p>
<p>参考書・ 参考資料等</p>	<p>随時、適切なテキスト・資料等を紹介する。</p>